



BCJ-審査証明-286

建設技術審査証明書（建築技術）

技術名称：給湯用銅管の更生技術「HSC（Hot Super Coat）工法」

標記技術の内容について依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に基づき証明するものである。

（開発の趣旨）

集合住宅の給湯用銅管に漏水が発生した場合、全ての配管を新管にする更新工事、又は、漏水部分の配管を部分的に切断し新管にする更新工事があるが、壁や床等の解体・復旧工事が必要となり居住者への負担が大きいこと、また、部分的な更新工事では更新した箇所以外での漏水が再度発生する恐れがあった。

そこで、壁や床等の解体・復旧工事を最小限に抑え、給湯用銅管の内面に塗膜を形成することにより、給湯用銅管を更生する技術を開発した。また、施工方法及び施工管理体制を確立することで本工法の普及を図る。

（開発の目標）

- (1) 給湯用銅管内面の汚れ等を除去する下地処理研磨を行うことにより、塗料の塗布に適した下地を形成できること。
- (2) 適切な塗布条件のもとで、給湯用銅管にHSC塗料を塗布することにより、厚さ0.3mm以上の強固な塗膜を形成できること。
- (3) 本工法により形成された塗膜が水質に悪影響を与えないこと。

一般財団法人日本建築センターの建設技術審査証明事業（建築技術）業務規程及び建設技術審査証明事業（建築技術）業務約款に基づき、依頼のあった給湯用銅管の更生技術「HSC（Hot Super Coat）工法」の技術内容について下記のとおり証明する。

2022年1月26日



建設技術審査証明協議会会員

一般財団法人 日本建築センター
The Building Center of Japan

理事長



記

1. 審査証明結果

本技術について、上記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 給湯用銅管内面の汚れ等を除去する下地処理研磨を行うことにより、塗料の塗布に適した下地を形成できるものと判断される。
- (2) 適切な塗布条件のもとで、給湯用銅管にHSC塗料を塗布することにより、厚さ0.3mm以上の強固な塗膜を形成できるものと判断される。
- (3) 本工法により形成された塗膜が水質に悪影響を与えないものと判断される。

2. 審査証明の前提

本審査証明は、依頼者から提出された資料等には事実に反する記載がなく、依頼者の責任において適正に設計・施工・品質管理等が行われることを前提に、依頼者から提出された資料に基づいて行われたものである。

3. 審査証明の範囲

審査証明は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発の目標に対して設定された確認方法により確認した範囲とする。なお、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は審査証明の範囲に含まれない。

4. 審査証明の詳細（別添）

この審査証明技術を個々の工事等へ適用する際は、別添内容に従うこと。

5. 審査証明の有効期限 2027年1月25日

6. 審査証明の依頼者

株式会社 タイコー 住所 千葉県船橋市本町7-27-15 新船橋ビル